

平成23年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立金剛登山道駐車場	指定管理者：株式会社アスウェル	指定期間：平成22年4月1日～平成25年3月31日	所管課：環境農林水産部みどり・都市環境室みどり推進課
-------------------	-----------------	---------------------------	----------------------------

評価項目	評価基準(内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S~D		S~D		
I 提案の 履行状況 に関する 項目	(1)施設の設置目的及び管理運営方針	1. 金剛登山道駐車場の設置目的を理解しているか 2. 府が提示した管理運営方針と、事業者が申請した管理運営方針が合致するか	1. 「金剛生駒紀泉国定公園の利用の増進を図る」という設置目的達成のために、周辺施設と連携した施策の実施。そのため、有効な意見交換とイベント等の実施ができるよう、22年度途中より千早赤阪村観光協会へ加盟。	A	1. 千早赤阪村観光協会へ加盟するなど、地域と連携して運営にあたり、駐車場設置目的をよく理解していると評価できる。 2. 周辺施設「千早赤阪村営金剛山ロープウェイ」、「府民の森ちはや園地」、「村営宿泊施設『香楠荘』」とも連携をとっており、府が提示した管理運営方針をよく理解していると認められる。 例えば、荒天によるロープウェイ運行中止時には、ただちに駐車場に運行中止の看板を掲示し、利用者に情報提供している。	B	○施設の目的に沿って適切に管理運営されている。 特に、千早赤阪村観光協会へ加盟するなど、地域と連携して運営にあたるなど取組み、周辺施設とも連携をとっている点が評価できる。
	(2)平等な利用を図るための具体的手法・効果	1. 事業等の内容が平等利用を担保する内容となっているか 2. 高齢者、障がい者等に対して配慮を要する事項について適切な提案がなされているか	1. 平等な接客・対応。スタッフが不在時の精算機トラブル時に遠隔監視による入庫を行い、確実に入庫できるように対応。 2. 駐車場内での倒木やゴミの放置、階段や柵の破損等、高齢者や障がい者の方々に危険を及ぼす可能性を未然に防ぎ、利用を援助。 障がい者手帳をお持ちの利用者が、スタッフ不在時に来場されても、遠隔監視により入庫できるようにしている。	A	1. スタッフ不在時の遠隔操作による監視など、提案内容どおりの運営が実施されている。	A	○スタッフ不在時の遠隔操作による監視や周辺駐車場の連携など提案どおりの運営が行われており、高齢者や障がい者にも安全・安心な利用に配慮されている。
	(3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果	1. 広報等について具体的な計画となっているか 2. 利用拡大の取り組み内容は適切か	1. 利用案内パンフレットの作成と配布による広報。また、ホームページの作成による広報活動。イベント実施に伴うチラシの作成と当社取引先の官庁各施設へのチラシ設置。	A	1. ホームページの内容、更新頻度については改善の余地がある。携帯電話対応はまだできていない。 2. 雨合羽、アイゼンの販売が利用されている点や、杖の貸出数が多いことは評価できる。 金剛山の写真掲示は適当な場所がなく未実施だが、広告や回数券に金剛山の写真を利用するなどの工夫をしている。	B	○HPの更新頻度や携帯電話対応には未だ改善の余地があるものの、利用案内パンフレットやイベント実施の作成・配布、取引先へのチラシ設置等、広報活動の取組みが評価できる。 ○雨合羽やアイゼンの販売、杖の貸出などが評価できる。 ○利用拡大のためには、周辺施設との連携やイベントの共同実施が必要と考える。
	(4)サービスの向上を図るための具体的手法・効果	1. サービスの向上のための取組内容は適切か 2. 募集要項に示した管理運営事項に対する取組内容は適切か 3. 全体的に施設の整備機能を活用した内容となっているか 4. 自主事業の提案は適切か	1. 駐車区画線の改修(白線の引直し)。案内看板の設置。回数券の販売。登山関連物品の販売と杖の無料貸出し。 2. 管理運営事項に対する取組みは実施しており、トラブル等緊急時には担当者へ連絡、その他要望・意見等があれば日報により報告。 3. 管理事務所の一部を物販ブースにし、第2駐車場をイベントスペースとして活用。また、壊れた女子トイレ個室を更衣室として有効活用。 4. 第2駐車場を活用したイベントの実施(22年度：風づくり(参加4組、雨天の為途中中止)、23年度：ブーメランづくり(参加20組)、車で来場してもらいやすいよう親子(家族)で参加できるもの)。 回数券の購入者に対し、オリジナルのしおりをプレゼント。自動販売機の設置。「朝がゆ会」等、水を使用する調理に関しては、水質検査を受けていない水しかないため、実施が困難な状態。	B	1. 運営開始時に区画線を引き直している。また、案内看板を設置し、駐車場までの誘導をわかりやすくしている。杖の貸出、雨合羽等の販売など、提案どおりに実施されている。 2. スタッフ不在時のトラブルを遠隔操作により発見し、即時に対応した事例があるなど、管理運営は適切に実施されている。 3. 提案どおり管理事務所の一部を物販ブースにし、第2駐車場をイベントスペースとして活用している。 4. イベントの実施については評価できるが、近隣施設や地元ボランティア団体によるイベントが数多く実施されている実態がある。今後は独自開催ではなく地元団体等が実施するイベントに参画するなど、イベントのあり方について検討が必要。	B	○駐車区画線の改修、案内看板の設置、回数券の販売、杖の無料貸出しなどの利用者サービスや、物販ブース、イベントスペースとしての活用、更衣室としての有効活用などが提案どおり実施されている。 ○多彩な自主事業を展開して利用者の増大に努めている点が評価される。 イベントの開催形態については、他施設との共催等も積極的に取り組まれない。
	(5)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	1. 行政の福祉化、就職困難者への雇用・就労支援が実施されているか 2. 府事業、その他の公益事業への協力が実施されているか 3. ボランティア・NPO等との協働事業が実施されているか 4. 施設運営への府民参加機会の確保 5. 環境問題への取組み状況	1. 運営開始時に、本社業務部による大清掃を実施。その後は、毎週月・金にスタッフによる日常清掃を実施。また、毎日巡回点検を兼ねた清掃を行い、安全対策を実施。 漏水、電球切れ等の設備トラブルが発生した場合には、本社業務部による修繕等を実施。 2. 巡回点検(清掃)、トイレ清掃の実施による美観維持、景観保全。 3. 巡回点検により、対応可能な不具合についてはスタッフで修繕等の対応を行い、不可能な場合は本社業務部による修繕等を実施。 外部発注が必要な場合は、協力会社への要請により対応。	A	1. 提案どおりに週2回清掃を実施し、毎日の点検時にも清掃を行うなど、適切な維持管理が行われている。 2. 放置ゴミ対策やトイレ清掃など、施設の美化活動に適切に取り組んでいる。 3. 自社で修繕等のメンテナンスを実施できるため、迅速な対応が可能となっている。	B	○提案どおりの施設管理・景観維持がなされている。

(6)府施策との整合	<p>1. 行政の福祉化、就職困難者への雇用・就労支援が実施されているか 2. 府事業、その他の公益事業への協力が実施されているか 3. ボランティア・NPO等との協働事業が実施されているか 4. 施設運営への府民参加機会の確保 5. 環境問題への取組み状況</p>	<p>1. 登山等のけが人等を搬送するために駐車場に車両やヘリの待機が必要な場合、その要請に協力。 23年度に実施のダイトレサミットへの事前相談・イベント協力。 など 2. シルバー人材センターを活用。 3. ボランティア・NPO等との協同事業の実施については、設置目的が限定されていることから実施困難な状態。 府施策ではあるが、ダイトレサミットでのイベントについては、協力会社に登山ガイドとしてボランティア参加してもらった。 4. 清掃用品等は、環境に配慮したものを使用。ただし、運営開始時点で設置されていた清掃資材で使用可能なものはそのまま使用。 ゴミゼロ計画については、未実施。</p>	B	<p>1. 昨年5月14日にちはや園地で実施した、ダイヤモンドトレールサミットin金剛山「ダイトレを歩こう！」に協力している。 2. 現地スタッフにシルバー人材センター会員を充て、業務開始前に研修を実施している。 また、公募以前から府の就労支援事業を利用して障がい者を3名雇用するなど、就職困難者の雇用も積極的である。 3. ボランティアやNPOについては地元既存団体が多くあるので、自ら育成するのではなく、既存団体とどのような協働ができるか検討する必要がある。 自主事業としてのイベントも単独実施にこだわらず、地元団体との参画に力を入れるべき。 4. ゴミゼロ計画については未実施。なお、ゴミ持ち帰りの注意喚起の表示をしており、場内の美観は保たれている。</p>	B	<p>○府事業への連携に協力的である。 ○シルバー人材センターを活用した障がい者の雇用の実現などが評価される。</p>	
I 総括			A			B	
II なる行適 関能を正 す力図な る及る管 事びこ理 項財と業 政が務 基での 盤き遂	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	<p>1. 収入、支出の積算と事業計画の整合性は図られているか 2. 収支計画の実現可能性はあるか</p>	<p>1. 支出については積算しやすい項目が多く、結果として事業計画とかけ離れた数字ではなかったが、収入については天候の影響で利用台数が多かったため増収となった。また、自動販売機設置による収入が想定以上の結果となった。 2. 広報活動による周知は継続的に実施しているが、1年半を経過して実感したことは、天候が曇であっても利用者が少なくなることであり、収支計画の実現に大きく左右することがわかった。そのため、実現可能性については、その年度の天候によるため、予測困難。</p>	A	<p>1. 平成22年度はインセンティブ設定額以上の収入があった。今年度の収入はほぼ前年と横ばいの状況なので、インセンティブ設定額を超える収入が期待できる。</p>	A	<p>○収支計画に問題はない。今後より一層の利用拡大の取組みを期待したい。</p>
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	<p>1. 職員体制は十分か 2. 職員採用、確保の方策は適切か 3. 職員の指導育成、研修体制は十分か</p>	<p>1. 通常期と繁忙期で人員の配置数を変動させている。また予想外に来場者が多いと現地で判断した場合には、スタッフの増員を実施。 2. 地元優先、また府施策を踏まえ、シルバー人材センターを活用。採用については、当社の考えを十分に理解し、研修を実施した人材を配置。 3. 開始前研修と、清掃・対応の仕方等、現地訪問時に従事者に対する指導を随時実施するなど、気づいた点はすぐに実施。</p>	A	<p>1. 人員を現場の状況に合わせて柔軟にスタッフを配置し、職員体制は整っていると認められる。 2. シルバー人材センターと十分に打ち合わせした上での人材配置は評価できる。 3. 実務を通じての研修が十分行われていることが認められる。</p>	B	<p>○利用数に対応した柔軟な人員配置を行っている。 ○職員体制や研修の実施も問題ない。</p>
	(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	<p>1. 指定管理者の経営規模、事業規模、組織規模等は十分か 2. 運営基盤として、指定管理者の財務状況は妥当か</p>	<p>1. 直前決算の状況から、経営規模、事業規模、組織規模等は十分であると判断します。 2. 直前期、売上高は前年と同水準を維持。利益は減少しているものの、財務状況としては十分であると判断します。</p>	A	<p>1. 経営規模、事業規模、組織規模等は十分であると認められる。 2. 財務状況は概ね安定しており、適正であると認められる。</p>	B	<p>○経営規模、事業規模、組織規模等は十分であると認められる。 ○財務状況は概ね安定しており、適正であると認められる。</p>
III 総括			A			B	